

社会医学実習シラバス

-実習ガイド-

2024年6月10日～6月21日

2024年度 M4（第48回生）

筑波大学 医学群 医学類

目 次

社会医学実習.....	2
1. 古河保健所.....	9
2. 筑西保健所.....	11
3. つくば保健所.....	13
4. 土浦保健所.....	15
5. 日立保健所.....	17
6. 中央保健所.....	19
7. 竜ヶ崎保健所.....	21
8. 水戸市保健所.....	23
9. 茨城県精神保健福祉センター.....	25
10. 精神保健福祉・児童福祉機関.....	27
11. 茨城産業保健総合支援センター.....	30
12. 茨城労働局.....	32
13. グローバルヘルス.....	34
14. 臨床研究の実践と生物統計.....	36
16. 法医学実習.....	41
17. 環境医学実習.....	43
2024年度 M4 社会医学実習担当教員連絡先.....	46

社会医学実習

1. コースの概要（社会医学とは）

社会医学とは、社会との接点により重きをおいた医学の学問領域の総称であり、その対象は社会で生活している（していた）人である。社会医学実習は、医学医療系の社会医学関連分野（疫学、生物統計学、保健医療政策学、医療経済学、ヘルスサービスリサーチ、福祉医療学、環境医学、環境保健学、精神保健学、社会健康医学、分子遺伝疫学、法医学など）の教員が担当し、17の実習グループに分かれて実施する。

社会医学実習の位置づけ

社会医学が医学教育コアカリキュラムにおいてカバーしている領域は以下の通り。社会医学実習はこれらの領域において、社会との接点の実際を実習し、理解を深めるものと位置づける。

A:基本事項	D-3 物理・化学因子による疾患
A-4 課題探求・解決と論理的思考	D-4 成長と発達
(1) 課題探求・解決能力	D-5 加齢と老化
(2) 論理的思考と表現能力	D-6 人の死
(3) 生涯学習への準備	D-7 死と法
(4) 医療の評価	F:医学・医療と社会
B:医学一般	(1) 社会・環境と健康
B-1 個体の構成と機能	(2) 疫学と予防医学
(6) 遺伝と遺伝子	(3) 生活習慣と疾病
B-3 原因と病態	(4) 保健、医療、福祉と介護の制度
(1) 遺伝子異常と疾患・発生発達異常	(5) 診療情報
	(6) 臨床研究と医療

2. 筑波大学卒業時コンピテンシーとの関連

すべてのコンピテンシーと関連するが、特に以下の項目を重視する。

・プロフェッショナリズム

利益相反を正しく理解し、社会規範を遵守する。学術活動/診療の場において、研究倫理/医療倫理の原則に基づいて行動できる。(レベル3)

社会全体の医療ニーズと医療資源の公平な分配のために、医療者が心がけるべきことを列挙し、医療の質の向上に努めることができる。(レベル3)

・医療の社会性

実際の現場で、集団レベルの視点から問題点を抽出し、科学的に分析し、問題解決に取り組むことができる。(レベル3)

実際の現場で、保健・医療・福祉に関する関連法規、制度、組織、専門職、医療経済を意識して行動できる。(レベル3)

実際の現場で、地域のニーズを意識し、地域の特性を活用するよう意識して行動できる。(レベル3)
指導の下で個人・集団を対象とした予防活動を一部実践できる。(レベル3)

3. コースの到達目標

地域における公衆衛生活動に参加し、疫学的アプローチ・環境調査・食品衛生・健康管理および保健・医療・福祉の連携の実際及び公衆衛生行政における医師の役割等を学ぶ。また、実験を通して社会医学に関する具体的な測定法などを学ぶ。

4. 学習行動目標

- ・公衆衛生活動の目的と方法およびその過程を理解するとともに、今後の展望を検討する。
- ・保健・医療・福祉の連携において不可欠な地域の多職種・関係機関の連携ならびに各々の業務を理解する
- ・環境問題・化学物質による汚染問題、ヒトゲノム多様性と疾患の遺伝素因を理解することにより、社会をより健康に保つ基礎的素養を身につける。

5. キーワード

健康と疾病、保健医療制度と医療資源、医療経済、地域保健、医の倫理、国際保健、人口・保健統計、疫学の基礎、臨床疫学、生物統計学、感染症対策、母子保健、学校保健、成人・老人保健、地域医療・介護、健康づくり、精神保健・福祉、食品保健、社会保障・社会福祉、環境保全と公害、日常生活の環境、産業保健、医事・薬事関係法規、多因子疾患の遺伝因子

6. 学習の進め方

実習グループごとに特徴ある内容を学習する。社会医学実習及び各グループの目標を予め確認し、積極的に実習に参加する。個人レポートのテーマについてもできるだけ前もって考えておき、実習開始時に担当教員に相談できるようにするのが望ましい。

7. 他の授業科目との関連

これまでに履修してきた社会医学関連の科目や講義、特に M3 コース#14 社会医学で学んだことを復習し、この社会医学実習を通じてより深いものとする。

8. リソースパーソン(自習やグループ学習で疑問が解決しない時など、積極的に活用して下さい。)

13. 担当教員を参照

9. 教科書・参考書

- ・ 国民衛生の動向:厚生統計協会
- ・ 国民と福祉の動向:厚生統計協会
- ・ 公衆衛生マニュアル:柳川洋, 中村好一編, 南山堂

10. その他の学習リソース

厚生労働省、国立研究機関などのホームページから、関連する情報を参照し、学習に役立てる。

11. 評価

実習への積極的参加(50%)とレポート(50%)をもとに成績をつける。大学外実習施設があるグループについては、実習施設による評価を含め、実習への積極的参加について評価を行う。

12. 対応する「医学教育モデル・コアカリキュラム」の内容

「医療の社会性」の項目、「人間個体はもちろん、地域・社会あるいは人類全体の問題を広くとらえ、保健・医療・福祉の関連法規、制度、システム、資源を理解した上で、社会基盤に基づく地域・社会の健康を支える活動を実践できる」に対応する。

13. 実習時期・実習グループ・担当教員

2024年6月10日～6月21日の2週間(土日を除く10日間、ただし実習施設等の状況等により異なって設定される場合もある)で実施する。

各実習グループと担当教員は下表の通り。(2024年4月現在)

	実習グループ	担当教員
1	古河保健所	市川政雄
2	筑西保健所	木原朋未
3	つくば保健所	田宮菜奈子、渡邊多永子、岩上将夫
4	土浦保健所	手嶋昭子
5	日立保健所	田宮菜奈子、岩上将夫、渡邊多永子
6	中央保健所	近藤正英、木村桃子、大久保麗子
7	竜ヶ崎保健所	堀愛
8	水戸市保健所	近藤正英、木村桃子、大久保麗子
9	茨城県精神保健福祉センター	大谷保和
10	精神保健福祉・児童福祉機関	森田展彰
11	茨城産業保健総合支援センター	笹原信一朗、堀大介
12	茨城労働局	松崎一葉、道喜将太郎、高橋司
13	グローバルヘルス	我妻ゆき子
14	臨床研究の実践と生物統計	五所正彦
15	分子遺伝疫学実習	川崎綾、土屋尚之、村谷匡史
16	法医学実習	高橋遥一郎、菅野幸子
17	環境医学実習	中山祥嗣、堀愛

【初日の集合場所・時間は、各実習グループの代表者が担当教員に連絡をとり、確認すること】

14. 注意事項

- ・ 個人情報保護について常に留意すること。
 - ・ 服装及び身だしなみに注意すること。
 - ・ 指定された時刻に遅れないこと。
 - ・ 挨拶を欠かさず、丁寧な言葉遣いと態度を保つこと。
 - ・ 体調管理に気を配り、やむを得ず欠席する場合は、必ず担当教員（及び必要に応じて実習施設の担当者）に連絡すること。
 - ・ 移動時は交通事故に注意し、自家用車を使用する場合は、適切な自動車保険に加入していることを確認すること。また、自家用車を乗り合わせる場合は、同乗者の補償が含まれている保険であるかも確認し、含まれていない場合は、グループで費用を出し合うなどして、実習期間中は加入するようにすること。
- ※ 詳細については、担当教員及び実習施設の担当者等の指示に従うこと。

15. 実習レポート

- ・ 下記の要領と様式に従い、グループ単位のレポート（グループ・レポート）と個人単位のレポート（個人レポート、オンライン課題レポート）を作成する。いずれも担当教員に内容の確認と指導を受けること。
- ・ グループ・レポートは、内容により、実習施設の確認も受ける必要がある。実習施設の確認後、担当教員より指示があれば、加筆修正を行うこと。
- ・ 担当教員の了解を得た後、グループ・レポートはグループの代表者が**最終版を manaba へ提出する**。個人レポート、オンライン課題レポートは各自が**最終版を manaba へ提出する**。
- ・ manaba 提出最終確認日は、**2024年7月12日(金)**とする。これ以降の提出は一切認めない。期日に提出されない場合は、実習不合格となり、臨床実習に進むことができず留年となるので、くれぐれも期日に遅れずに提出すること。担当教員が別途期日を指示した場合はそれに従うこと。

グループ・レポート

分量：5～7 ページ

内容：実習グループ名（〇〇保健所又は実習の名称）、実習期間、担当教員・学生氏名、実習日程、実習概要を記載する。実習概要には、各実習の目的を3～5行程度で、内容を10～20行程度で記載する。（感染症診査協議会、3歳児健診、食品工場、浄水場に関する実習を行った場合、実習概要は4つ記載する。）最後に、実習先でお世話になった方々への謝辞を記載する。

個人レポート

分量：2～3 ページを原則とする。ただし、実験実習やデータ解析実習などの結果の表や図を含める必要がある場合は5 ページ以内とする。実習グループの担当教員の指示に従うこと。

内容：学生各自が実習で経験したこと、調べたこと、考えたことをまとめる。グループ・レポートでは実習の内容そのものを報告するのに対して、個人レポートでは実習の内容や実習を通して見出した課題について考察を深める。課題は自由に設定してよい。ただし、グループ内で内容が重複しないよう配慮すること。

個人レポートは、緒言、方法、結果、考察、文献の順でまとめるが、必ずしも学術的なレポートを求めているわけではない。たとえば感染症診査協議会（結核部会）に関するレポートであれば、緒言に実習先の保健所管内における結核の現状、方法に協議会に参加したことや文献検討したこと、結果に協議会の内容や文献検討の内容、考察に結果で記載した内容を踏まえて考えた結核対策の課題のまとめ、などで構わない。もし協議会の参加を通して、特定のテーマ（たとえば、在日外国人に対するDOTSのあり方）に関心を持ったのであれば、そのことについて調べたことをまとめても構わない。大切なことは、個人レポートの作成を通じ、医学と社会のつながりをさまざまな角度から理解することにある。

オンライン課題レポート

別途配布する「社会医学実習 オンライン課題」の通り必修課題のレポートを作成する。担当教員からの指示があった場合は、自由課題のレポートも作成する。

なお、文献の引用方法は下記サイトを参照のうえ、統一すること。

グループ・レポート様式

実習グループ名（〇〇保健所 又は 実習の名称）

実習期間：令和〇〇年〇月〇日～〇月〇日

担当教員：〇〇〇〇先生

学 生：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

一般目標（社会医学実習ガイドから各実習グループのものを記載）

行動目標（社会医学実習ガイドから各実習グループのものを記載）

実習日程（例）

令和6年	午前		午後	
	実習内容	担当	実習内容	担当
6/10(月)	学内オリエンテーション			筑波大学
6/11(火)	オリエンテーション 保健所事業概要の説明 (保健所内)	所長 次長 等	1歳6か月児健康診査 (つくばみらい市 谷和原保健 センター)	地域保健推進室
6/12(水)	H I V検査	健康指導課	ポリオ予防接種 (つくば市 大穂保健センタ ー)	地域保健推進室
6/13(木)	感染症対策について 結核対策について	健康指導課 地域保健推 進室	感染症診査協議会結核部会への 参加	健康指導課
6/14(金)	精神障害者自立支援施設 (地域活動支援センター ふれんず・わかば)	地域保健推 進室	医療相談について 保健所実習のまとめ	地域保健推進室
6/17(月)	研究テーマについて、研究方法の確認後、必要となる資料の収集を行う。考察を深め、研究結果をまとめる。			筑波大学
6/18(火)	研究テーマに関するワーク(続き)、報告書作成			筑波大学
6/19(水)	研究テーマに関するワーク(続き)、報告書作成			筑波大学
6/20(木)	研究テーマに関するワーク(続き)、報告書作成			筑波大学
6/21(金)	グループ内でのプレゼンテーション			筑波大学

実習概要 [以下に実習項目ごとに、その目的と内容を記載する]

1. (実習項目名)

目的：3～5行程度にまとめて記載する

実習内容：10～20行程度にまとめて記載する

2. (実習項目名)

目的 :

実習内容 :

3. (実習項目名)

目的 :

実習内容 :

4. (実習項目名)

目的 :

実習内容 :

5. (実習項目名)

目的 :

実習内容 :

(実習項目数は実習内容により適宜設定する)

謝辞

実習先の方々に対するお礼の気持ちを 5~10 行程度にまとめて記載する (教員に対する謝辞は不要)

個人レポート様式

個人レポート

課題：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ (自由に設定する 例：○○保健所における結核対策)

学籍番号：○○○○○ 氏名：○○○○○

緒言

課題の背景や目的を記述する (例：○○保健所管内における結核の発生状況など)

方法

課題に関する情報の収集・分析方法などを記述する (例：感染症診査協議会 (結核部会) に参加したこと、文献検討したことなど)

結果

課題について収集・分析した情報を記述する (例：協議会で協議した内容、文献検討した内容など)

考察

結果の考察を記述する (例：協議会で協議した内容や文献検討した内容などを踏まえ考えたこと)

文献

参考にした文献や情報源を記載する

オンライン課題レポート様式

オンライン課題レポート（必修課題）

学籍番号：○○○○○

氏名：○○○○○

必修課題 1

ビデオの内容を数行でまとめる

必修課題 2

ビデオの内容を数行でまとめる

必修課題 3

ビデオの内容を数行でまとめる

必修課題 4

ビデオの内容を数行でまとめる

必修課題 5

ビデオの内容を数行でまとめる

必修課題 6

ビデオの内容を数行でまとめる

ビデオの内容で重要だと思った点

適宜選び、それに対する自らの考えを 1000～1500 字程度で述べる

1. 古河保健所

【実習テーマ】 公衆衛生行政と保健医療福祉の連携

【実習期間】 2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】 市川 政雄

【一般目標 GIO】

地域における公衆衛生活動に参加し、保健所の役割と保健医療福祉の連携について理解を深める。

【行動目標 SB0s】

- ・ 公衆衛生行政ならびに保健所の役割を説明することができる。
- ・ 地域における公衆衛生活動について、その現状と課題を説明することができる。
- ・ 保健医療福祉の連携について、その現状と課題を説明することができる。

【実習項目・目的】

- ・ 古河保健所および管内の関連施設における実習・見学（実習日程を参照）
- ・ 保健医療福祉に関するフィールドワーク

【研究テーマ】

各自が実習内容に基づき設定する。

【注意事項】

- ・ 実習中の服装は原則的にスーツや病院実習時の服装に準じ、名札を常時着用すること。
- ・ 本学周辺から古河保健所に電車やバスで通うのは困難なため、自家用車で通うことになる。施設によっては駐車場に限りがあるので、できるだけ乗り合わせることを。

【実施日程】

	内容	場所
6月10日	オリエンテーション 保健所業務に関するオンライン課題	学内
6月11日	所内オリエンテーション 母子保健（乳幼児健診見学）	古河保健所 古河市健康の駅
6月12日	食品衛生（工場見学） 所長講話	トモエ乳業 古河保健所
6月13日	精神保健（社会復帰施設見学） 環境衛生（浄水場見学）	サフラン工房 思川浄水場
6月14日	感染症対策（防護服着脱訓練） カンファレンス	古河保健所
6月17日	アカデミック・ライティング	学内
6月18日	保健所に学ぶ： ヒ素中毒対策に関するオンライン課題	学内
6月19日	保健所に学ぶ： 新型コロナ対策に関するオンライン課題	学内
6月20日	レポート作成・指導	学内
6月21日	レポート作成・指導	学内

上記の実習内容は昨年度の実績で、変更の可能性がある。
実習内容については要望があれば、担当教員へ申し出ること。

2. 筑西保健所

【実習テーマ】 地域における公衆衛生活動・社会における医師の役割

【実習期間】 2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】 木原 朋未

【一般目標 GIO】

保健所・市町村における地域保健・医療・福祉・環境の全体像を把握し、地域保健・医療・福祉・環境の連携を含む社会における医師の役割を理解する。さらに、地域における公衆衛生に関する実践活動に参加し、その方策、活動、評価方法等を体得する。保健・医療・福祉・環境等に関わる施設を見学し、その取組みと役割を理解する。

【行動目標 SBOs】

- ・地域保健・医療・福祉・環境における保健所の役割を理解できる。（解釈）
- ・保健所及び地域における医師の役割を理解できる。（解釈）
- ・地域保健・医療・福祉・環境における問題点の整理ができる。（解釈）
- ・地域住民との適切なコミュニケーションができる。（態度）
- ・効果的な生活習慣病予防の方策とその評価方法を説明できる。（技能）
- ・生涯学習を継続する態度を身につける。（態度）
- ・プライバシーの保護に留意して情報を選別できる。（態度）

【実習項目・目的】（実習機関との調整により、内容は変更する場合がある）

<学内外演習>

- ・公衆衛生研究機関等の専門施設の見学
- ・社会医学に携わる医師・研究者による講話

<保健所実習>

- ・保健所の役割・業務
- ・管内の保健指標・生活習慣病の動向
- ・感染症診査協議会（結核部会）
- ・薬物中毒更正施設
- ・精神障害者地域活動センター
- ・HACCPに基づく品質管理
- ・介護保健施設・地域リハビリテーション
- ・地域医療機関
- ・管内市の保健事業の見学
 - 乳幼児健診
 - 精神保健デイサービス
 - 機能訓練
 - 保健・福祉・健康増進施設 他

【実施日程】（参考用）

月日	午前	午後
6/10（月）	実習オリエンテーション・オンライン課題	
6/11（火）	保健所オリエンテーション	P P E 着脱訓練
6/12（水）	保健所の業務・所長講話	介護老人保健施設
6/13（木）	保健所の業務	食品工場見学
6/14（金）	茨城ダルク	あけの元気館
6/17（月）	地域健診	実習生との意見交換会
6/18（火）	学内外演習「社会における医師（1）」	
6/19（水）	学内外演習「社会における医師（2）」	
6/20（木）	学内外演習「社会における医師（3）」	
6/21（金）	学内外演習「社会における医師（4）」	

※ 実習の前週にオリエンテーションを実施する場合がありますので、必ず出席すること（60分程度）。実施する場合、日時は追って連絡する。

※ 上記の実習内容は過去のモデルケースであり、2024年度の具体的な実習内容と日程は、全体の日程が6月10日から6月21日までであることを除き、現時点では未定である。上記と大幅に異なる実習内容となる可能性がある。正式な実習内容は後日連絡する。

※ 「学内外演習」の実施場所は未定である。過去の実習先は、柏市保健所、順天堂大学公衆衛生学、厚生労働省、内閣官房、筑西市等の特定健康診査などであった。「学内外演習」以外の日程は筑西保健所での実習であるが、保健所外の施設での実習が含まれる。

【注意事項】

- 筑西保健所までの移動には自家用車が必要であり、大学から現地まで1時間30分程度かかる。遠方なので時間に余裕をもって行動すること。交通事故のないように注意し、なるべく車は乗り合わせて行くこと。
- 実習にかかる交通費等は自己負担となるので留意すること。
- 服装は、特に指定がない場合はスーツ（男女）・ネクタイ（男性）を基本とする。必要に応じて白衣、エプロン、ジャージ等が必要になる場合がある。
- 実習受入施設のご厚意によって実習が成り立っていることを肝に銘じ、礼を失しないよう格段の心構えで取り組むこと。実習態度や服装などには特に留意すること。
- 急病などで真にやむを得ず欠席する場合は、担当教員及び実習施設に必ず連絡すること。

3. つくば保健所

【実習テーマ】地域の保健医療福祉における保健所及び医師の役割

【実習期間】2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】田宮 菜奈子、渡邊 多永子、岩上 将夫

【一般目標 GIO】

地域での公衆衛生活動に参加し、地域保健活動の全体像、保健所の役割、保健・医療・福祉の連携の実際を知る。また、様々な関係機関を訪れ、行政・研究・地域など、幅広い視点からの公衆衛生活動、およびこれらの活動における医師の役割を学ぶ。

【行動目標 SBOs】

- 保健所を訪れ、地域保健活動を体験・見学することによって、地域の公衆衛生活動の現状や課題を理解する。
- 筑波大学ヘルスサービスリサーチ研究室の活動に参加し、社会医学研究の実際を知る。
- 医療行政についての講話を受け、行政や職域における公衆衛生活動、医師の役割について理解する。

【実習項目・目的】

- 保健所の業務に関する実習（つくば保健所）
- 社会医学研究に関する実習（筑波大学ヘルスサービスリサーチ研究室）
- データ解析実習
- 社会医学に携わる医師・研究者による講話

【実施日程】

令和6年	午前		午後	
	実習内容	担当	実習内容	担当
6/10(月)	オリエンテーション その後、自習（【保健所関係必修課題】のビデオを視聴）	筑波大学	つくば保健所訪問	つくば保健所
6/11(火)	つくば保健所訪問	つくば保健所	つくば保健所訪問	つくば保健所
6/12(水)	つくば保健所訪問	つくば保健所	つくば保健所訪問	つくば保健所
6/13(木)	つくば保健所訪問	つくば保健所	つくば保健所訪問	つくば保健所
6/14(金)	つくば保健所訪問	つくば保健所	つくば保健所訪問	つくば保健所
6/17(月)	データ解析実習	筑波大学	データ解析実習	筑波大学
6/18(火)	学内外演習「社会における医師」	未定	学内外演習「社会における医師」	未定
6/19(水)	学内外演習「社会における医師」	未定	学内外演習「社会における医師」	未定
6/20(木)	ヘルスサービスリサーチ研究室ランチタイム論文抄読会参加（医学英語）	オンライン	ヘルスサービスリサーチ研究室ゼミ見学	筑波大学
6/21(金)	レポート作成	自習	実習のまとめ 14～15時	筑波大学

実習日程の詳細は今後訪問先と調整して決定する。（上表の実習内容は本年の予定企画と過去の内容を参考に例示したものである）。

【注意事項】

時間厳守、社会人として適切な服装、オンライン講義は前日までにzoomURLを送ります。

4. 土浦保健所

【実習テーマ】 地域における保健・医療・福祉の連携

【実習期間】 2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】 手嶋 昭子

【一般目標 GIO】

地域における公衆衛生活動に参加し、保健所の役割と保健医療福祉の連携について理解を深める。

【行動目標 SBOs】

- ・ 公衆衛生行政ならびに保健所の役割を説明することができる。
- ・ 地域における公衆衛生活動について、その現状と課題を説明することができる。
- ・ 保健医療福祉の連携について、その現状と課題を説明することができる。

【実習項目・目的】

- ・ 土浦保健所および管内の関連施設における実習・見学（実習日程を参照）
- ・ 保健医療福祉に関するフィールドワーク

【研究テーマ】

各自が実習内容に基づき設定する。

【注意事項】

- ・ 実習中の服装は原則的にスーツや病院実習時の服装に準じ、名札を常時着用すること。健診時は白衣着用。
- ・ 実習施設への交通手段は、指示に従うこと。自家用車と公共交通機関の両方を利用することを想定しておく。

【実習日程】

	内容	場所
6月10日	オリエンテーション 保健所に関するオンライン課題	学内
6月11日	感染症・結核対策講義 熱中症対策講義 結核事例検討	土浦保健所
6月12日	精神保健・母子保健講義 執務室内実習 4か月健診	土浦保健所
6月13日	4か月健診	土浦保健所
6月14日	院内感染対策について	霞ヶ浦医療センター
6月17日	児童福祉（援助方針・受理会議見学） 実習の振り返り	土浦児童相談所 土浦保健所
6月18日	学内外演習（調整中）	未定
6月19日	レポート作成・指導	学内
6月20日	レポート作成・指導	学内
6月21日	レポート作成・指導	学内

上記は暫定的であるため、大幅に変更する可能性がある。実習内容については要望があれば、担当教員へ申し出ること。

5. 日立保健所

【実習テーマ】地域の保健医療福祉における保健所及び医師の役割

【実習期間】2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】田宮 菜奈子、岩上 将夫、渡邊 多永子

【一般目標 GIO】

地域での公衆衛生活動に参加し、地域保健活動の全体像、保健所の役割、保健・医療・福祉の連携の実際を知る。また、様々な関係機関を訪れ、行政・研究・地域など、幅広い視点からの公衆衛生活動、およびこれらの活動における医師の役割を学ぶ。

【行動目標 SBOs】

- ・ 保健所で行っている、地域保健活動を学ぶことによって、地域の公衆衛生活動の現状や課題を理解する。
- ・ 筑波大学ヘルスサービスリサーチ研究室の活動に参加し、社会医学研究の実際を知る。
- ・ 医療行政についての講話を受け、行政や職域における公衆衛生活動、医師の役割について理解する。

【実習項目・目的】

- ・ 保健所の業務に関する実習（日立保健所）
- ・ 社会医学研究に関する実習（筑波大学ヘルスサービスリサーチ研究室）
- ・ データ解析実習
- ・ 社会医学に携わる医師・研究者による講話

【実施日程】

令和6年	午前		午後	
	実習内容	担当	実習内容	担当
6/10(月)	オリエンテーション その後、自習（【保健所関係必修課題】のビデオを視聴）	筑波大学	日立保健所訪問	日立保健所
6/11(火)	日立保健所訪問	日立保健所	日立保健所訪問	日立保健所
6/12(水)	日立保健所訪問	日立保健所	日立保健所訪問	日立保健所
6/13(木)	日立保健所訪問	日立保健所	日立保健所訪問	日立保健所
6/14(金)	レポート作成	自習	レポート作成	自習
6/17(月)	データ解析実習	筑波大学	データ解析実習	筑波大学
6/18(火)	学内外演習「社会における医師」	未定	学内外演習「社会における医師」	未定
6/19(水)	学内外演習「社会における医師」	未定	学内外演習「社会における医師」	未定
6/20(木)	ヘルスサービスリサーチ研究室ランチタイム論文抄読会参加（医学英語）	オンライン	ヘルスサービスリサーチ研究室ゼミ見学	筑波大学
6/21(金)	レポート作成	自習	実習のまとめ 14～15時	筑波大学

実習日程の詳細は今後訪問先と調整して決定する。（上表の実習内容は本年の予定企画と過去の内容を参考に例示したものである）。

【注意事項】

時間厳守、社会人として適切な服装、オンライン講義は前日までにzoomURLを送ります。

6. 中央保健所

【実習テーマ】地域の保健医療福祉における保健所及び医師の役割

【実習期間】2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】近藤 正英、木村 桃子、大久保 麗子

【一般目標 GIO】

地域における公衆衛生活動に参加し地域保健活動の全体像，保健所の役割，保健・医療・福祉の連携の実際，また，関係機関を訪れ国際的視点からの公衆衛生活動や国際保健医療協力を，そしてこれらの活動における医師の役割を学ぶ。

【行動目標 SBOs】

- 保健所を訪れ現場での体験を通じてその役割を理解し，地域保健活動を体験・見学することによって地域の公衆衛生活動の現状や課題を理解する。
- 保健・医療・福祉の連携の現状と課題を理解し，その重要性を理解するとともに，医師の役割について理解する。
- 国際保健医療協力に関わる機関を訪れグローバルヘルスについての理解を深める。
- ハンセン病に関わる機関を訪れ社会の中での医療のあり方について理解を深める。
- 感染症コントロールについての理解を深める。
- 保健医療行政における医師の役割を理解する。

【実習項目・目的】

- 保健所の業務に関する実習（中央保健所）
- 地域保健活動に関する実習（中央保健所管内の保健医療福祉施設）
- 医療福祉連携に関する実習（市町村保健センター，介護老人保健施設，訪問看護ステーション）
- 食品衛生や健康危機管理に関する実習（茨城中央食肉公社，核燃料サイクル開発機構）
- グローバルヘルスに関する見学（結核研究所）
- ハンセン病医療に関する見学（多磨全生園）
- ハンセン病に関する見学（国立ハンセン病資料館）
- 検疫業務に関する見学（成田空港検疫所）

【実施日程】

第1週は、中央保健所で4日間の実習、第2週は、保健所以外の機関での実習を予定している。実習内容の詳細は直前に決定するので、その連絡指示に従うこと(下表の実習内容は近年の例を本年度の日程に組み入れたものである)。第2週の後半には個人レポートの添削指導を行う。

	午前		午後	
	実習内容	担当	実習内容	担当
1日目	実習オリエンテーション	大学	保健所関係オンライン課題	大学
2日目	講義「各課の業務内容」	中央保健所	茨城県赤十字血液センター見学	中央保健所
3日目	講義「各課の業務内容」 茨城県立衛生研究所見学	中央保健所	保健医療福祉連携（水戸市保健医療協議会） 結核対策（DOTS会議）	中央保健所
4日目	地域保健活動（シルバーリハビリ体操指導士養成講習会）	中央保健所	健康危機管理 原子力防災機材取扱合同訓練	中央保健所
5日目	茨城県身体障害者小児歯科治療センター見学訪問看護ステーションみと	中央保健所	茨城県立健康プラザ見学 所長講話	中央保健所
6日目	レポート作成	大学	成田空港検疫所	大学
7日目	結核研究所	大学	国立ハンセン病資料館，多磨全生園	大学
8日目	レポート作成	大学	レポート作成	大学
9日目	レポート作成	大学	レポート作成・個人レポート 案提出	大学
10日目	レポート作成	大学	レポート作成	大学

【注意事項】

- ・ グループ内で代表者を決め、代表者は事前に担当教員と連絡を取り、実習内容について確認しグループ内で周知すること。
- ・ 服装は基本的にはネクタイをして清潔にする(女性もこれに準ずる)が、保健所では担当者の指示にしたがうこと。
- ・ 時間厳守。遅れることのないように、時間に余裕をもって行動をする。
- ・ 施設内で写真を撮る場合は、必ず施設の責任者から許可を得ること。
- ・ すべての施設には実習終了後に礼状を出す(お世話になった人には感謝の意を伝える)。

7. 竜ヶ崎保健所

【実習テーマ】 公衆衛生行政と保健医療福祉の連携

【実習期間】 2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】 堀 愛

【一般目標 GIO】

地域における公衆衛生活動に参加し、保健所の役割と保健医療福祉の連携について理解を深める。

【行動目標 SBOs】

- ・ 公衆衛生行政ならびに保健所の役割を説明することができる。
- ・ 地域における公衆衛生活動について、その現状と課題を説明することができる。
- ・ 保健医療福祉の連携について、その現状と課題を説明することができる。

【実習項目・目的】

- ・ 竜ヶ崎保健所および管内の関連施設における実習・見学（実習日程を参照）
- ・ 保健医療福祉に関するフィールドワーク

【研究テーマ】

各自が実習内容に基づき設定する。

【実施日程】

	内容	場所
1 日目	オリエンテーション	竜ヶ崎保健所
2 日目	雪印メグミルク（株）阿見工場における衛生管理説明及び工場見学 地域活動支援センター見学	雪印メグミルク（株）阿見工場 地域活動支援センター いなしきハートフルセンター
3 日目	PPE 着脱訓練 結核対策について（発生届後の流れや DOTS, 結核診査会等） 結核診査会 市町村における乳幼児健康診査について	竜ヶ崎保健所
4 日目	利根町フリフリ地区運動集会 3歳5か月児健康診査	利根町公民館 守谷市保健センター
5 日目	指定難病受付業務見学 実習振り返り 利根町地域ケアシステムサービス調整会議 竜ヶ崎保健所管内院内感染対策ネットワーク会議	竜ヶ崎保健所 利根町すこやか交流センター 竜ヶ崎保健所
6 日目	オンライン課題 進捗報告ミーティング	各自 学内
7 日目	オンライン課題・レポート作成	各自
8 日目	オンライン課題・レポート作成	各自
9 日目	専門家との対話（オンライン） レポート作成	各自
10 日目	総括	学内

- ・ 以上は 2023 年度の実績を踏まえた案である。実習期間・内容に若干の変更があるかもしれない。
- ・ 2020～2023 年度と同様に、公衆衛生の専門家とオンラインで対話する機会も設ける予定である。

【注意事項】

- ・ 実習中の服装は、指示がない限り、スーツや病院実習時の服装に準ずるものとする。
- ・ 本学周辺から竜ヶ崎保健所に電車やバスで通うのは困難なため、自家用車で通うことになる。

8. 水戸市保健所

【実習テーマ】地域の保健医療福祉における保健所及び医師の役割

【実習期間】2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】近藤 正英、木村 桃子、大久保 麗子

【一般目標 GIO】

地域における公衆衛生活動に参加し地域保健活動の全体像、保健所の役割、保健・医療・福祉の実際と、また、関係機関を訪れ国際的視点からの公衆衛生活動や国際保健医療協力を、そしてこれらの活動における医師の役割を学ぶ。

【行動目標 SBOs】

- 保健所を訪れ現場での体験を通じてその役割を理解し、地域保健活動を体験・見学することによって地域の公衆衛生活動の現状や課題を理解する。
- 保健・医療・福祉の連携の現状と課題を理解し、その重要性を理解するとともに、医師の役割について理解する。
- 国際保健医療協力に関わる機関を訪れグローバルヘルスについての理解を深める。
- ハンセン病に関わる機関を訪れ社会の中での医療のあり方について理解を深める。
- 感染症コントロールについての理解を深める。
- 保健医療行政における医師の役割を理解する。

【実習項目・目的】

- 保健所の業務に関する実習（水戸市保健所）
- 地域保健活動に関する実習（水戸市保健所）
- 食品衛生に関する実習（協同組合水戸ミートセンター）
- 動物の愛護及び管理に関する実習（水戸市動物愛護センター）
- グローバルヘルスに関する見学（結核研究所）
- ハンセン病医療に関する見学（多磨全生園）
- ハンセン病に関する見学（国立ハンセン病資料館）
- 検疫業務に関する見学（成田空港検疫所）

【実施日程】

第1週は、水戸市保健所で4日程度の実習、第2週は、保健所以外の機関での実習を予定している。実習内容の詳細は直前に決定するので、その連絡指示に従うこと(下表の実習内容は近年の例を本年度の日程に組み入れたものである)。第2週の後半には個人レポートの添削指導を行う。

	午前		午後	
	実習内容	担当	実習内容	担当
1日目	実習オリエンテーション	大学	保健所関係オンライン課題	大学
2日目	実習オリエンテーション 所長講話	水戸市保健所	育児相談・乳幼児一般健康診 査見学	水戸市保健所
3日目	協同組合水戸ミートセン ター見学	水戸市保健所	水戸市動物愛護センター見 学	水戸市保健所
4日目	講義「各課の業務内容」	水戸市保健所	水戸市保健所検査棟見学	水戸市保健所
5日目	講義「各課の業務内容」	水戸市保健所	まとめ	水戸市保健所
6日目	レポート作成	大学	成田空港検疫所	大学
7日目	結核研究所	大学	国立ハンセン病資料館, 多磨 全生園	大学
8日目	レポート作成	大学	レポート作成	大学
9日目	レポート作成	大学	レポート作成・個人レポート 案提出	大学
10日目	レポート作成	大学	レポート作成	大学

【注意事項】

- ・ グループ内で代表者を決め、代表者は事前に担当教員と連絡を取り、実習内容について確認しグループ内で周知すること。
- ・ 服装は基本的にはネクタイをして清潔にする(女性もこれに準ずる)が、保健所では担当者の指示にしたがうこと。
- ・ 時間厳守。遅れることのないように、時間に余裕をもって行動をする。
- ・ 施設内で写真を撮る場合は、必ず施設の責任者から許可を得ること。
- ・ すべての施設には実習修了後に礼状を出す(お世話になった人には感謝の意を伝える)。

9. 茨城県精神保健福祉センター

【実習テーマ】 茨城県における精神保健福祉活動

【実習期間】 2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】 大谷 保和

※2023年度より対面実習に戻っているが、Covid-19の感染拡大状況等によっては施設によってオンライン実習となる可能性がある。

【一般目標 GIO】

医療と社会の接点における活動を理解し、精神保健福祉の現場の第一線の業務を体験的に理解することを通して社会医学を学ぶ。

【行動目標 SBOs】

以下についての基礎知識を理解および説明できる。

- ・精神保健領域の実践の基礎となる法制度（精神保健福祉法、障害者自立支援法、医療観察法等）
- ・精神保健領域の専門機関（精神保健福祉センター、保健所、社会復帰施設、保護観察所、児童相談所など）での業務の実際
- ・精神保健領域でさまざまな問題をかかえる人（アルコール・薬物依存、引きこもり、電話相談、社会復帰施設使用者）が相談・治療・社会復帰する過程で辿るプロセス
- ・精神保健学的な評価法（面接・心理テストなど）や介入法（心理療法など）の基礎

上述した点において現状を踏まえながら、①何が問題となっているのか②問題の背景や原因はどこにあるか③問題を解決するためにどんな対応が必要かについて、さまざまな観点から論じ、レポートとしてまとめることができる。

【実習項目・目的】

- ・精神保健福祉センターの位置づけ、機能、スタッフの役割を学ぶ。
- ・茨城県の精神保健福祉行政を俯瞰的に捉え、精神医療の現状・課題・改善策を考える。
- ・精神保健領域におけるさまざまな専門機関の見学を行い、スタッフや利用者とのふれあいを通じて問題意識を深める。

【研究テーマ】

- ・（実習の中に組み込まれた）茨城県における精神保健関連の事業や取り組みについて

【実施日程】

期日	午前		午後	
	実習内容	担当	実習内容	担当
6/10 (月)	社会医学実習オリエンテーション・精神保健学概論の講義 (精神保健福祉法および制度の要点、精神障害者の社会復帰、児童虐待への介入と援助、アルコール・薬物依存症の基礎知識) (筑波大学)			精神保健学分野教員
6/11 (火)	オリエンテーション・センター長講話・センター業務説明① (精神保健福祉センター)	センター長・センター職員	茨城県中央児童相談所の見学 (中央児童相談所)	児童相談所職員
6/12 (水) ? 6/18 (火) 予定している課題と実習施設	センター業務説明② (精神保健福祉センター)	センター職員	精神保健福祉センターでの事例検討への参加 (精神保健福祉センター)	センター職員
	医療法人社団有明会 栗田病院 (入院病棟・自立訓練施設などを備える総合精神科病院) の見学 (栗田病院)			センター職員・施設職員
	薬物依存症回復施設の体験学習 (茨城ダルク)	センター職員 ダルク職員	茨城県ひきこもり相談支援センターの見学 (茨城県ひきこもり相談支援センター)	センター職員 施設職員
	実習のまとめと振り返り (精神保健センター)	センター職員 精神保健学分野教員	心神喪失等医療観察法についての講義と施設見学 (水戸保護観察所)	保護観察所職員
	社会精神保健学分野で作成したオンライン課題映像の視聴	各自進める	オンライン課題で感じたことのディスカッション+実習の感想共有など (Zoom)	精神保健学分野教員
6/19 (水) ? 6/21 (金)	レポート作成 (筑波大学)			各自進める 精神保健学分野教員

実習日程の詳細は5月頃決定する(上表は2023年度の日程を本年の日程に組み入れたもの)

【注意事項】

- ・初日の学内での講義は白衣不要。2日以降については初日に説明する予定。
- ・協力先各機関が業務の合間を縫って好意で実施する実習であり、礼儀正しい行動を心掛ける。
- ・集合時間への遅刻、講義中の居眠り・携帯電話使用・内職は厳禁。
- ・精神障害当事者(利用者)への対応に失礼がないようにする。
- ・実習中は実習生に相応しい服装とする(スーツは必要ない)。
- ・学外施設ではネームプレートを必ず着用する。
- ・施設によっては上靴(スリッパでも可)の用意が必要となる。

10. 精神保健福祉・児童福祉機関

【実習テーマ】子どもと成人の精神保健福祉

【実習期間】2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】森田 展彰

【一般目標 GIO】

地域で成人や子どもの精神的問題を支援する多様な支援機関（精神保健福祉センター、精神障害者社会復帰施設、薬物依存症や発達障害に対するクリニック、児童相談所、児童福祉施設など）に赴き、発達の視点を含む精神的な問題の理解やケアについて学ぶ。

【行動目標 SBOs】

- ・精神障害の予防、早期発見・介入、社会復帰について精神保健センターをはじめとする各施設の役割や機能について説明できる。
- ・アルコール薬物依存症を理解し、回復のための援助方法について説明できる。
- ・不適切な養育や発達の問題を抱えた児童に対する地域における支援について理解できる。
- ・精神障害のある当事者やその支援者と話をおききして、その気持ちに寄り添うとともに、支援に関するニーズや課題について考察する。

【実習項目・目的】

- ・わが国の精神障害の現状と対策、精神保健福祉法、精神科リハビリテーション、アルコール・薬物依存症の実態など、実習を行う上で役立つ知識を学ぶ。
- ・精神保健に関連する多様な関連機関（精神障害者社会復帰施設、児童福祉施設、高齢者施設、薬物依存症社会復帰施設など）に出向き、地域における精神的な問題を持つ人に対するケアや社会復帰の実際について学ぶ。
- ・不適切な養育を受けた児童について、その症状や親子関係や生活上の困難について理解する。それとともにどのような支援が行われているかを学ぶ。

【研究テーマ】

- ・精神障害のある人の持つ当事者のもつ多様な支援ニーズおよびそれに対する具体的な対応について明らかにする。
- ・児童虐待の背景要因や子供に与える影響について。またそうした事例に対する親や子どもに対する介入・支援
- ・児童期の精神的な問題が成人後の精神障害にどのように影響しているかを明らかにする。

【実施日程】 以下は昨年の予定表を今年のカレンダーに移したもので、変更の可能性があります（実習が近づいて日程が決定されれば、連絡します。これに準じたものになる予定です。）

日時	午前	午後	担当
6/10 (月)	社会精神医学の講義や対話オリエンテーション (9:00-15:00分) 総合研究棟D棟の115 3グループ(潮来保健所、精神保健福祉センター、 精神保健福祉センター・児童福祉グループ) 合同で行う 社会精神医学概論、アディクションの講義	午前中の続き 児童虐待などの講義・対話 その後の実習予定の確認	斎藤 森田 大谷
6/11 (火)	精神保健福祉センター(9:30~15:00) オリエンテーション、事業説明①	保健所ビデオ視聴(筑波大学内、各自) TEAMS	午前:大谷
6/12 (水)	精神保健福祉センター オリエンテーション、事業説明②	精神保健福祉センター ケースワーク実習	午後:森田
6/13 (木)	栗田病院と関連施設(那珂市)10時30分~午後4時		大谷
6/14 (金)	茨城県中央児童相談所(10:00~12:00)	自習(精神保健福祉のビデオ視聴 and/or レポートまとめ)	森田
6/17(月)	アパリクリニック(新宿)(10:00) リアルに実習先で集合して見学 依存症を専門としたクリニックで、日本ダルク とも一緒にやっている。12ステップなどの 当事者グループや依存症への認知行動療法 などの見学など	アパリクリニック(新宿)(16:30ごろ終 了予定、遅くとも17:00には修了)	森田
6/18(火)	自習(精神保健福祉のビデオ視聴 and/or レポートまとめ)	オンラインでのグループ学習 (13:30-15:00) オンライン課題映像を見て 考えたこと・感じたことについての対話	
6/19(水)	つくばさくらの森乳児院(10:15-12:00) 不適切な養育などにより家庭から離して療 育を提供する施設である。その運営の意義 や行われているケアについて学ぶ	筑波愛児園(14:00-16:00) リアルに実習先に集合して見学 児童養護施設の概要や不適切な養育が児童に 与える影響やその回復援助を学ぶ 実習の総括	森田
6/20(木)	個人レポート作成		
6/21(金)	個人レポート作成		

【注意事項】

- 実習の時間に遅れることのないよう出席してください。特別な事情があり遅刻、欠席をする場合は遅滞なく森田展彰や精神保健福祉センターに連絡をしてください。
- 各実習先の方は時間や手間をさいて、皆さんの学びを助けてくださる施設の方々への礼節をもった応対をお願いします。服装などへの気遣い（長髪はまとめる、爪を切る、装飾品はつけない等）、学生としてのマナーを守ってください。一方で、積極的に質問などは積極的に行ってくださいと充実した実習になると思います。
- 様々な職種や患者さんとやりとりする機会がありますので、状況に応じた十分な配慮を行うことをお願いします。
- 万が一に問題を生じた場合など相談のある時は、森田展彰まで連絡してください。森田が診療などですぐに対応できない時などは、各機関へ連絡いただく方がいい場合もあると思います。

11. 茨城産業保健総合支援センター

【実習テーマ】 産業保健領域における予防医学実習

【実習期間】 2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】 笹原 信一郎、堀 大介

【一般目標 GIO】

産業保健現場における労働安全衛生体制，産業医をはじめとする産業保健スタッフの役割と業務の実際を学ぶ。

【行動目標 SBOs】

- ・ 事業場における産業医の位置づけ，役割が説明できる。
- ・ 事業場における労働安全衛生に関する法規とそれに基づく基準の概要を説明できる。

【実習項目・目的】

- ・ 職場に潜在化する危険とそれに対する医学的見地から見た予防措置を考案する。

【研究テーマ】

産業保健の現状と課題

【実施日程】

参考に昨年度(2023年度)の実習日程を示す。

2024年度の実習日程の詳細は、2024年5月頃に決定する。

日付	時間	内容	場所
6/10(月)	10:30-11:30	オリエンテーション	4B棟104号室
6/11(火)		保健所オンライン課題	オンライン
6/12(水)	9:00-12:00	医局ミーティング	イノベーション棟105
	16:30-17:30	産業医座談会	イノベーション棟105
6/13(木)	14:00-15:00	大和ハウス工業 職場巡視	浜松町
			マリックス・タワー
6/14(金)	12:30-17:00	筑波宇宙センター	つくば
6/17(月)	10:00-17:30	ゲートウェイクリニック	新宿
6/18(火)	13:00-14:30	労働局・産保センター 講義	4B棟104号室
6/19(水)	13:30-15:00	面談ロールプレイ	4B棟104号室/ 学系棟121号室
6/20(木)	9:25-15:00	コマツ茨城工場	ひたちなか
6/21(金)	14:30-16:00	総括	4B棟104号室

【注意事項】

- ・ 実習先は東京都内や茨城県県北の事業場など様々な機関に及ぶ。
- ・ 現地で実習する場合、交通費は学生の自己負担となる。
- ・ いずれの実習先も入場に関して特別の許可を受ける必要があり、遅刻は欠席扱いとなる。
- ・ 身分証明書を携帯すること。
- ・ 駐車場が限られるため、公共交通機関、または最小限の台数の車に同乗して移動すること。
- ・ 実習協力先各機関の好意で実施する実習であり、礼儀正しい行動を心掛けること。
- ・ 指示のない限り、基本的に常時ネクタイとジャケット(スーツ)を着用すること。
- ・ 実習先で昼食が提供される場合があります。アレルギーのある方は事前にお知らせください。実習先でアレルギーの対応が難しい場合は、昼食を持参いただくことがありますのでご了承ください。

12. 茨城労働局

【実習テーマ】 産業保健領域における予防医学実習

【実習期間】 2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】 松崎 一葉, 道喜 将太郎, 高橋 司

【一般目標 GIO】

産業保健現場における労働安全衛生体制, 産業医をはじめとする産業保健スタッフの役割と業務の実際を学ぶ.

【行動目標 SBOs】

- ・ 事業場における産業医の位置づけ, 役割が説明できる.
- ・ 事業場における労働安全衛生に関する法規とそれに基づく基準の概要を説明できる.

【実習項目・目的】

- ・ 職場に潜在化する危険とそれに対する医学的見地から見た予防措置を考案する.

【研究テーマ】

産業保健の現状と課題

【実施日程】

参考に昨年度(2023年度)の実習日程を示す。

2024年度の実習日程の詳細は、2024年5月頃に決定する。

日付	時間	内容	場所
6/10(月)	10:30-11:30	オリエンテーション	4B棟104号室
6/11(火)		保健所オンライン課題	オンライン
6/12(水)	9:00-12:00	医局ミーティング	イノベーション棟105
	16:30-17:30	産業医座談会	イノベーション棟105
6/13(木)	14:00-15:00	大和ハウス工業 職場巡視	浜松町
			マリックス・タワー
6/14(金)	12:30-17:00	筑波宇宙センター	つくば
6/17(月)	10:00-17:30	ゲートウェイクリニック	新宿
6/18(火)	13:00-14:30	労働局・産保センター 講義	4B棟104号室
6/19(水)	13:30-15:00	面談ロールプレイ	4B棟104号室/ 学系棟121号室
6/20(木)	9:25-15:00	コマツ茨城工場	ひたちなか
6/21(金)	14:30-16:00	総括	4B棟104号室

【注意事項】

- ・ 実習先は東京都内や茨城県県北の事業場など様々な機関に及ぶ。
- ・ 現地で実習する場合、交通費は学生の自己負担となる。
- ・ いずれの実習先も入場に関して特別の許可を受ける必要があり、遅刻は欠席扱いとなる。
- ・ 身分証明書を携帯すること。
- ・ 駐車場が限られるため、公共交通機関、または最小限の台数の車に同乗して移動すること。
- ・ 実習協力先各機関の好意で実施する実習であり、礼儀正しい行動を心掛けること。
- ・ 指示のない限り、基本的に常時ネクタイとジャケット（スーツ）を着用すること。
- ・ 実習先で昼食が提供される場合があります。アレルギーのある方は事前にお知らせください。実習先でアレルギーの対応が難しい場合は、昼食を持参いただくことがありますのでご了承ください。

13. グローバルヘルス

【実習テーマ】 グローバルヘルス

【実習期間】 2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】 我妻 ゆき子

【一般目標 GIO】

途上国を含め、世界の保健医療の状況及び国際協力の取り組みを理解し、また在日外国人や海外渡航者・訪日外国人に対する保健医療ケアについて学ぶことを目標とする。

【行動目標 SBOs】

- 国際保健医療（グローバルヘルス）の重要性を理解し、関連する課題と問題点を把握できる。
- 地球規模の健康課題への取り組みと国際協力の必要性を把握できる。
- 海外渡航者や訪日外国人の増加に伴う渡航医学や、定住する外国人への医療提供について、その重要性を把握できる。
- 国境を超えて脅威を与える新興再興感染症について理解を深め、対策について説明できる。
- 顧みられない熱帯病についての理解を深める。
- 気候変動に伴う健康問題の出現を理解し、説明できる。
- 問題解決に関するグループ内討論により、問題解決能力を高める。
- データ解析、結果の表現能力を高め、わかりやすく説得力のある報告書を作成することができる。

【実習項目・目的】

プロジェクト・サイクル・マネジメント手法により、国際医療保健活動のプロジェクト計画を作成する。

国際保健医療活動を実施している機関（国際医療研究センターなど）を訪問し、その活動内容について学ぶ。

【研究テーマ】

国際保健医療に関するプロジェクト計画書を各自提出する。

【実施日程】

日 程	内 容	実 習 場 所
6/10(月)	オリエンテーション ディスカッション 国際保健とその歴史 プロジェクト・サイクル・マネージメント(PCM) グループプロジェクトワーク	筑波大学 203 教室 9:00～15:00
6/11(火)	ディスカッション 人口・リプロダクティブヘルス・栄養 プロジェクト・デザイン・マトリックス演習 グループプロジェクトワーク	筑波大学 203 教室 10:30～15:00
6/12(水)	ディスカッション 感染症 グループプロジェクトワーク	筑波大学 203 教室 9:00～15:00
6/13(木)	ディスカッション サステイナブル開発目標 (SDGs) グループプロジェクトワーク	筑波大学 203 教室 9:00～15:00
6/14(金)	グループプロジェクト発表会* グループ報告書提出	筑波大学 203 教室 13:00～15:00
6/17(月)	国際保健医療活動の実際	国立国際医療研究センター
6/18(火)	個人研究テーマコンサルテーション 個人研究テーマに関するワーク	筑波大学 学系棟 433 室 9:00～16:00
6/19(水)	個人研究テーマに関するワーク(続き) オンライン課題	
6/20(木)	研究テーマに関するワーク(続き)、報告書作成	
6/21(金)	個人研究発表会 個人研究報告書提出	筑波大学 203 教室 12:15～15:00

【注意事項】

学外施設訪問ではネームプレートを必ず着用し、実習生に相応しい服装とする（スーツは要求しないが、それに近い服装とする）。施設訪問については、受け入れ機関の事情により実習期間の別の日への変更の可能性がある。一部の講義や討論を外国人 TA とともに英語で実施する。

*ベストプロジェクトは M4 小括講義「途上国における医療」にて発表する。

14. 臨床研究の実践と生物統計

【実習テーマ】 臨床研究の実践と生物統計

【実習期間】 2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】 五所 正彦

【一般目標 GIO】

根拠に基づいた医療（evidence-based medicine, EBM）の実践のためには、臨床研究を行い、客観的データを提供する必要がある。本実習を通じて、医学における問題発見能力、問題を考察する能力、およびその解決能力を養うことを目標とする。

【行動目標 SB0s】

- ・ 臨床研究を通じて、EBMの考え方を理解できる。
- ・ 研究テーマを探求し、論理的思考により問題点を把握できる。
- ・ 問題解決に関するグループ内討論により問題解決能力を高めることができる。
- ・ データ解析、結果の表現能力を高め、説得力のあるプレゼンテーションができる。
- ・ 研究内容を報告書としてまとめることができる。

【実習項目・目的】

- ・ EBMや臨床研究の必要性を学ぶ。
- ・ 臨床研究と医療の関連を理解できる。
- ・ 臨床研究の組織、仕組み、手順、技法を学習する。
- ・ 臨床研究の実施現場を見学し、実態を理解する。
- ・ 臨床研究を実践する上での研究マインドを養う。
- ・ 患者の倫理を守るためのルールを理解する。
- ・ つくば臨床医学研究開発機構 T-CReDO の見学を通じて、臨床研究に携わる人たちの役割を学ぶ。
- ・ データの品質の重要性を理解する。
- ・ データ分析法を学習する。
- ・ 臨床研究を主体的に実践できる医師に必要な基礎的技能を養成する。

【研究テーマ】 臨床研究の計画、実施、解析、報告

【実施日程】

	内 容	場 所
6/10 (月)	社会医学実習オリエンテーション オンライン課題の動画視聴	筑波大学他
6/11 (火)	臨床研究とは？その手順と技法，ルール 臨床研究の現場（１）研究計画書	筑波大学
6/12 (水)	臨床研究の現場（２）研究の実施と管理	筑波大学
6/13 (木)	臨床研究の現場（３）データマネージメント	筑波大学
6/14 (金)	臨床研究の現場（４）統計解析	筑波大学
6/17 (月)	これまでの実習と臨床論文輪読を踏まえた研 究仮説の創生	筑波大学
6/18 (火)	SPSS によるデータ分析	筑波大学
6/19 (水)	SPSS によるデータ分析	筑波大学
6/20 (木)	結果の解釈，考察，討議	筑波大学
6/21 (金)	報告書の作成	筑波大学

【注意事項】

- 実習の日程や内容の詳細は後日改めて連絡する。
- 実習中の服装は，筑波大学の実習生として相応しい格好とする。
- 医療施設の見学にあたり，患者と接することもあるので，ルールとマナーを遵守すること。

15. 分子遺伝疫学実習

【実習テーマ】 疾患の遺伝因子の解明とその医療応用、ヒトゲノムデータベースの使い方

【実習期間】 2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】 川崎 綾、土屋 尚之（分子遺伝疫学研究室）、村谷 匡史（ゲノム生物学研究室）

【一般目標 GIO】

ヒトゲノム解析による疾患の遺伝因子の解明は急速に進展しており、次世代シーケンス解析を用いた臨床的・シーケンシングやゲノム薬理的知見は、すでに医学研究や医療の現場に導入されています。誰もがアクセスできる、オミクス関連公開ヒトデータベースも急速に充実してきています。今後の医学・医療の担い手にとって、ヒトゲノム、疾患感受性や薬剤応答性に関連する遺伝因子に対する理解は重要であり、公開データベースを利用して、興味を持った疾患や遺伝子に関する情報を、日常的に得るための基本的手法を学ぶことは、ゲノム医療に対する興味と理解を深める上で、大きな助けになります。

本実習では、セミナーおよび基本的なバイオインフォマティクス演習を通じて、疾患とヒトゲノム多様性の関連の解析法、研究の現状、公開ゲノムデータベースからの情報収集法、遺伝統計学的解析法について理解するとともに、自ら課題を見つけ、解決する能力を養うことを目標とします。また、日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター実習において、血液製剤の安全管理について学ぶとともに、血液型、HLA、感染症検査等において、遺伝子解析がどのように医療に応用されているかについても学びます。

【行動目標 SBOs】

- 初歩的なバイオインフォマティクスの方法を習得し、公開ゲノムデータベースを用いて、自らの興味を持つ疾患、遺伝子および一塩基バリエーション(SNV)等に関する情報を収集することができる。
- 遺伝型データを統計学的に解析し、解釈することができる。
- ヒトゲノム解析を用いた疾患研究の論文を読み、理解することができる。
- 医学研究および医療の現場において、ヒトゲノム解析、遺伝子検査がどのように行われ、どのような留意が必要であるかを理解する。
- グループ内討論により問題解決能力を高めることができる。
- わかりやすく説得力のあるプレゼンテーションができる。
- 実習内容を報告書としてまとめることができる。

【実習項目・目的】

- ヒトゲノム多様性、疾患の遺伝的リスクファクターについて理解し、それらの医学・医療における意義および解析法を学ぶ。
- ヒトゲノムデータベースから必要な情報を得る方法を学ぶ。
- 基本的な遺伝統計学的解析法を学ぶ。
- 大規模血液センター実習において、遺伝子検査がどのように行われ、診療や研究に応用されているかを学ぶ。また、輸血の安全管理全般について学ぶ。

【研究テーマ】 人類集団におけるゲノム多様性と、その解析が医学・医療において持つ意義

【実施日程】(2024年1月時点での予定です。今後、内容が大きく変わることはありませんが、日程の入れ替えの可能性はあります。)

2024年	午前(10:00~12:00)	午後(13:00~16:00)	実施形態
	実習内容	実習内容	
6/10(月)	①オリエンテーション ②遺伝学的解析法(SNVタイピング、シーケンス、HLAタイピングなど)(セミナー) ③演習ガイダンス(セミナー)	・GWASデータベースを利用した疾患関連バリエーションの探索(演習)	学内 (4A226)
6/11(火)	①疾患ゲノム研究の実例①(セミナー) ②演習ガイダンス(セミナー)	・遺伝子情報とSNV情報の取得(演習) ・PCRプライマーの設計(演習)	学内 (4A226)
6/12(水)	①疾患ゲノム研究の実例②(セミナー) ②演習ガイダンス(セミナー)	・SNV頻度情報の取得(演習) ・Tag SNPの選択(演習) ・連鎖不平衡情報の取得(演習)	学内 (4A226)
6/13(木)	①演習ガイダンス(セミナー)	・遺伝子発現情報の取得(演習) ・eQTL解析(演習) ・SNVの機能予測	学内 (4A226)
6/14(金)	①パスウェイ解析ツール等を用いたトランスクリプトーム解析(セミナー) ②演習ガイダンス(セミナー)	パスウェイ解析ツール等を用いたトランスクリプトーム解析(演習)	学内 (4A226)
6/17(月)	日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター実習(血液型、感染症・核酸増幅検査、HLA、日本の献血制度および血液事業の現状、血液製剤、臍帯血バンク、施設見学)		辰巳(東京都)
6/18(火)	全グループ共通のオンライン課題		自習
6/19(水)	興味を持つ疾患や遺伝子を自ら選択し、データベースからゲノム、トランスクリプトーム、発現などに関する情報を得て、まとめるとともに、課題を自ら設定し、データベースからどこまで情報が得られるか、また、それを検証するためにはどのような研究計画を立てればよいかを考察する(演習)。個人レポートは、この内容で作成してください。オフィスアワー(13:30-15:00 Teams)		自習 /Teams
6/20(木)	各自の演習内容の発表(pptxなどによるプレゼンテーション)と討論。	レポート作成	学内 (4A226)
6/21(金)	レポート作成		自習

【備考】

- 学内実習は、自習日以外は 10:00 開始です。本実習期間を通じて使用する、学内の WiFi に接続可能な各自のノート型パソコンを持参してください。
- 6月17日（月）の日本赤十字社関東甲信越ブロック血液センター実習（東京都・辰巳）は、公共交通機関（TX、大江戸線、有楽町線など）を使っていらしてください、つくばからは片道1時間30分くらい、交通費は片道1,500円くらいかかりますが、自己負担になりますので、ご了承ください。この日は、実習生としてふさわしい服装（クールビズ可）で参加してください。
- 午後の演習は、公開データベースを用いて自習していただきます。特別なアプリは必要ありませんが、スマートフォンやタブレットではやりにくいと思います。
- 公開データベースは急速に進化しているため、具体的な演習およびセミナーの内容は、6月の時点で最善と思われるものに変更する可能性があります。
- 必要な資料は、実習中に Microsoft Teams にて共有します。
- レポートについて、および、全グループに共通のオンライン課題については、初日のオリエンテーションで説明します。
- 実習開始前に変更がある場合は、Eメール等でご連絡します。
- 各日の実習内容は、実習期間内で入れ替える場合がありますので、ご了承ください。

16. 法医学実習

【実習テーマ】 異状死体の取扱いと社会への還元

【実習期間】 2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】 高橋 遥一郎、菅野 幸子

【一般目標 GIO】

医学と法との接点となる医師業務を理解し、大学、警察署およびその他関係機関での異状死体に対する検死、解剖、各種検査（血液検査、生化学検査、中毒検査、病理組織検査、DNA検査）等の法医学業務の実際を学び、ヒトの死の法的な取り扱いを理解するとともに死因診断技術を習得する。社会全体における死因究明等の公益性・重要性を理解する。

【行動目標 SBOs】

- ・ 異状死体の発生状況を理解し、死体検案技術に習熟する。
- ・ 各種検査方法について理解し、データを解釈する技能を身につける。
- ・ 死体解剖技術の基礎を習得する。
- ・ 突然死や変死などを病理組織学的検査から診断する基礎を習得する。
- ・ 結果の表現能力を高め、わかりやすく説得力のあるプレゼンテーションができる。
- ・ 研究内容事実と解釈を区別して要約することが出来る。
- ・ 死後画像検査の基礎を学ぶ。

【実習項目・目的】

- ・ 異状死体の取扱いに求められること及び死因を判断する医師の役割を学ぶ。
- ・ 検視や解剖、病理や薬毒物検査等の実際を学び、医師として死因解明技能を身につける。
- ・ 日本全体および茨城県内の異状死体の発生状況を知り、その問題点を把握する。

【実施日程】（本実習ガイド作成時点での予定であり、今後変更される可能性がある。）

- ・ 法医学実習では学生はA班・B班に分かれ、一部を除いて別々の行程で実習を行う。A班6名、B班6名として、予め学生間で相談し班分けをしておくこと。
- ・ 次頁の表に示す行程を予定しているが、異状死体の発生状況によって実習内容は流動的に変動する。翌日の実習内容は前日午後5時までに決定し連絡するので、臨機応変に対応すること。

2024年社会医学実習 法医学 予定表

日付	内容
6/10(月)	午前：オリエンテーション、模擬症例の提示 午後：検査室見学（A班）またはオンライン課題（B班）
6/11(火)	大学で司法解剖見学、または剖検センターで死後画像診断・死体検案等見学 空き時間で模擬症例についての発表準備
6/12(水)	
6/13(木)	
6/14(金)	
6/17(月)	午前：模擬症例について中間発表 午後：検査室見学（B班）またはオンライン課題（A班）
6/18(火)	東京都監察医務院で行政解剖見学
6/19(水)	大学で司法解剖見学、または剖検センターで死後画像診断・死体検案等見学 空き時間で模擬症例についての発表準備
6/20(木)	
6/21(金)	模擬症例についてプレゼンテーション、実習総括

【注意事項】

- 学外の実習では、自家用車は駐車できない場合があるので、公共交通機関を用いて各自で移動すること。どうしても自家用車を使用する必要がある場合は予め問い合わせること。
服装は、特に指定が無い場合は白衣を基本とする。教科書等の持参は各自で判断すること。

17. 環境医学実習

【実習テーマ】 バイオマーカーを用いた環境の健康への影響解析

【実習期間】 2024年6月10日（月）～6月21日（金）

【担当教員】 中山 祥嗣、堀 愛

【一般目標 GIO】

人の健康は、環境との相互作用で規定される。生物としての人の設計図はゲノムであるが、それが実際に機能する際には、環境との相互作用、それによる生体反応等により修飾される。受精後（あるいは受精前から）、胎内においても母体を通じてさまざまな環境にばく露されている（さらされている）。胎児期や幼児期の環境は、生涯にわたって健康に影響する可能性が報告されている。環境には、水、大気、土壌等の一般環境から身の回りの生活環境のみならず、教育レベルや経済状況などの社会経済的環境、都市環境、精神ストレス等も含まれる。これら人が相互作用するすべての環境が健康に影響することを研究する手法として、exposome研究がある。

本実習では、総合的環境研究機関である国立環境研究所での実習を通して、環境が人の健康に影響をおよぼすことを理解し、その影響を定量化するための手法について学習する。水、大気、土壌等の一般環境の健康影響、製品や日用品に含まれる工業化学物質による健康影響等を体系的に学習し、その予防のための社会的取組、規制等について理解する。特に、生体試料中のバイオマーカーを用いた環境ばく露の推定方法を体験し、統計学的な解析方法についても実践する。これらの研究結果を用いた、個人の行動変容、社会変革による予防医学について理解する。

【行動目標 SBOs】

- 大気汚染、水質汚染、土壌汚染等の健康影響について概説できる。
- 工業製品、日用品等に含まれる化学物質のうち、健康に影響をおよぼすものについて概説できる。
- バイオマーカーを用いた環境ばく露の推定方法について概説できる。
- 環境と健康との関連を解析するための統計学的手法について説明できる。
- 環境疫学研究の結果を用いた、社会変革について説明する。
- 環境医学をもちいた予防医学について習得する。

【実習項目・目的】

- 国立環境研究所における地球温暖化に関する研究、化学物質の毒性評価に関する研究および生体影響に関する研究を見学し、環境医学の概要を学習する。
- バイオマーカーを用いた環境ばく露の計測方法を学習する。
- 化学物質の体内動態、ばく露推計について学習する。
- 機械学習を用いた大気汚染モデルについて学習する。
- 健康影響との関連を解析するための統計解析について学習する。

【実施日程】(2024年1月時点での予定です。今後、内容が大きく変わることはありませんが、日程の入れ替えの可能性はあります。)

2024年	午前(10:00~12:00)	午後(13:00~16:00)	実施形態
	実習内容	実習内容	
6/10(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ オリエンテーション ・ 環境医学概説 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神栖ビデオ視聴 	学内
6/11(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立環境研究所実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立環境研究所実習 	国立環境研究所
6/12(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立環境研究所実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立環境研究所実習 	国立環境研究所
6/13(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立環境研究所実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立環境研究所実習 	国立環境研究所
6/14(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立環境研究所実習 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国立環境研究所実習 	国立環境研究所
6/17(月)	オンライン課題 進捗報告ミーティング	各自 学内	学内
6/18(火)	オンライン課題・レポート作成	各自	学内
6/19(水)	オンライン課題・レポート作成	各自	学内
6/20(木)	専門家との対話(オンライン) レポート作成	各自	学内
6/21(金)	総括		学内

【備考】

- 学内実習は、10:00 開始です。本実習期間を通じて使用する、学内の WiFi に接続可能な各自のノート型パソコンを持参してください。
- 国立環境研究所には、公共交通機関を使ってください。ひたち野うしく行きで「環境研究所」バス停下車、守衛で入校手続きを行った上で、環境保健研究棟 1F に集合してください。交通費は自己負担となりますのでご了承ください。
- レポートについて、および、全グループに共通のオンライン課題については、初日のオリエンテーションで説明します。
- 実習開始前に変更がある場合は、Eメール等でご連絡します。
- 各日の実習内容は、実習期間内で入れ替える場合がありますので、ご了承ください。
- 学外施設訪問ではネームプレートを着用し、環境医学実習に相応しい服装（クールビズ等）としてください。白衣の持参が必要な際には、事前に連絡します。

2024 年度 M4 社会医学実習担当教員連絡先

	実習先/実習名	担当教員
1	古河保健所	市川 政雄
2	筑西保健所	木原 朋未
3	つくば保健所	田宮 菜奈子
		渡邊 多永子
		岩上 将夫
4	土浦保健所	手嶋 昭子
5	日立保健所	田宮 菜奈子
		岩上 将夫
		渡邊 多永子
6	中央保健所	近藤 正英
		木村 桃子
		大久保 麗子
7	竜ヶ崎保健所	堀 愛
8	水戸市保健所	近藤 正英
		木村 桃子
		大久保 麗子
9	茨城県精神保健福祉センター	大谷 保和
10	精神保健福祉・児童福祉機関	森田 展彰
11	茨城産業保健総合支援センター	笹原 信一郎
		堀 大介
12	茨城労働局	松崎 一葉
		道喜 将太郎
		高橋 司
13	グローバルヘルス	我妻 ゆき子
14	臨床研究の実践と生物統計	五所 正彦
15	分子遺伝疫学実習	川崎 綾
		土屋 尚之
		村谷 匡史
16	法医学実習	高橋 遥一郎
		菅野 幸子
17	環境医学実習	中山 祥嗣
		堀 愛

M4
社会医学実習シラバス-実習ガイド-

第 48 回生

2024 年発行
筑波大学 医学類
